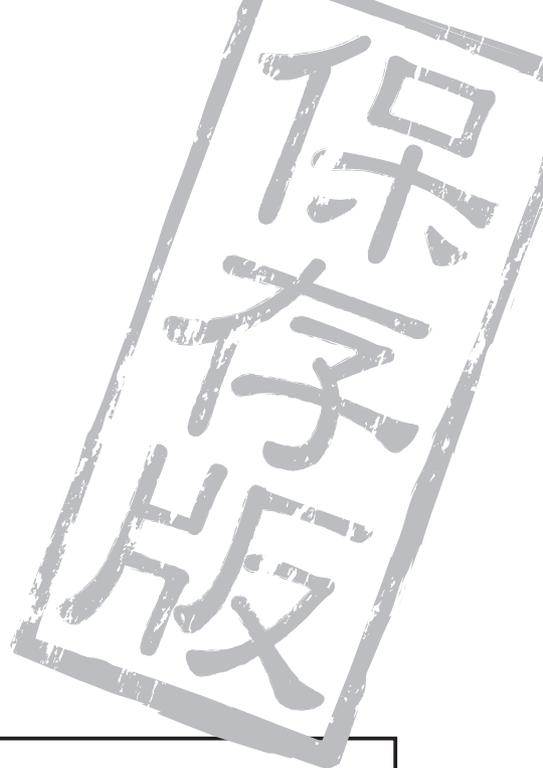


# パワハラ予防 マニュアル

—事件化する前に整備したい企業の対応策—

(株)クオレ・シー・キューブ 代表取締役社長

岡田 康子



## ■パワハラ対策は進んでいますか?!

ご承知の通り、パワハラの扱いは実は難しい。必要な教育指導とパワハラ行為との線引きがあいまいなこと。また、そもそものトラブルが、個人的な人間関係に起因しがちで組織的に介入しにくいこと。さらには、リーダーシップを発揮し、結果を出すという点で会社に貢献している優秀な管理者こそが加害者になりがちなこと。加えて「遅刻をしたらみんなの前で怒られた」といった“被害者”の勘違いや甘えも、問題をややこしくしている。

一方で、深刻な実態を放置した場合の悪影響も大きい。司法やマスコミに通報され“事件化”してから善後策を練るようではマネジメント不在の誹りは免れない。人権侵害や脱法行為に相当する案件が放っておかれたとすれば、経営責任まで問われる。そこまでいなくても、パワハラは職場の荒廃を招き、組織の生産性を低下させる。

では、何がパワハラで、組織としてはどう予防すればいいのか。本稿では組織の側の問題意識と対策手段を整理してもらった。できれば、早めに予防体制を整備したい。  
(編集部)

## 【構成】

### はじめに

### 第1部 パワハラとは何か

- 1 パワー・ハラスメントの定義
- 2 パワハラの4つのタイプ
- 3 パワハラがもたらす悪影響
- 4 パワハラの判断基準

### 第2部 パワハラ対応の基本

- 1 パワハラ以前に予防研修を
- 2 相談窓口の設置と対応
- 3 相談から問題解決への流れ

### 第3部 パワハラ防止研修の展開

- 1 パワハラのレベルと必要な研修
- 2 パワハラ防止教育の体系
- 3 教育を推進するに当たって

## ■(株)クオレ・シー・キューブ

1990年設立。「男女平等の社会参画の支援」「働きやすい職場作りの支援」という創業理念を受け継ぎ、女性のためのキャリア開発支援ならびに、メンタルヘルス、セクシュアル・ハラスメント、パワー・ハラスメントの相談や研修を中心とした、働きやすい職場づくりのためのサービスを提供している。

岡田代表の主な著書に『上司殿！それはパワハラです』（日本経済新聞社）、『上司と部下の深いみぞ』編著（紀伊国屋書店）、『管理職のためのパワー・ハラスメント論』共著（実業之日本社）、『許すな！パワー・ハラスメント』（飛鳥新社）ほか。また、監修ビデオに『パワー・ハラスメント』全2巻、『ケースで学ぶ パワー・ハラスメント対応』全2巻（ともに日経VIDEO）がある。

## ■連絡先：

〒169-0051 東京都新宿区西早稲田2-5-13 ITO BLDG 6F  
TEL：03-5273-2300 FAX：03-3205-3709 E-mail：cuore@cuorec3.co.jp